

Social medical corporation hokuto

★広報誌★

ほくと7

seven

69

VOL.

11月号

<http://www.hokuto7.or.jp>



脳血管障害は時間との闘い

特集

脳血管内治療センター



診療科紹介

脳神経外科

みなさん、こんにちは。
簡単ですが、当科の紹介をさせていただきます。
ここ10年、人員の入れ替わりが多少ありましたが、継続した質の医療を提供できていると考えています。

近年は脳外科の中でもサブスペシャリティが要求され、脳外科も細分化されつつあります。特に血管内外科の進歩は著しく、技術、機器の進歩で開頭術に変わる治療、または開頭術の前処置に必要な治療が提供されるようになりました。当科では指導医が2人で、全国的にも高度な技術を提供していると自負しております。

しかし、これには開頭術のバックアップが必要不可欠であり、しっかりと補完し合うように、確実な手術をするように努力しております。

その他、内視鏡、機能的手術の進歩、遺伝子治療の導入など、先進的なことも取り入れながら、皆で議論し、突出したことはできませんが、地道に十勝に根付いた脳神経外科を目指し、コメディカルと協調して今後も脳外科を発展させて頂きたいと思っております。

みなさん、今後よろしくお願ひ申し上げます。(北斗病院 副院長 脳神経外科部長 新田一美)



発症前に対応策を取る事が重要です。

早期に、的確に。
北斗病院の
脳ドック



検査に関するご予約・お問い合わせ
北斗検診センター
直通 0155-47-7777
●受付時間/平日▶9:00~17:00

園芸療法12ヵ月 ③



十勝自立支援センター 園芸療法士
介護老人保健施設 かけはし 劔持 卓也
植物のある環境や植物を育てることを用いて、対象となる方々の心身機能維持、回復に取り組む。日本園芸療法学会認定・専門認定登録園芸療法士。
老健かけはしBlog(ブログ)
園芸療法の取り組みやかけはしのイベント情報等、随時更新。ぜひご覧ください。



contents

- 02 園芸療法12ヵ月 専門家が教える 健康レシピ
- 03 ピックアップ
- 04 特集 脳血管内治療センター
- 06 HOKUTO NEWS

11月「居心地の良い場所」

11月に入ると空気の冷たさを感じる日が増えてきます。木々も次第に葉を落とし、景色はモノトーンへと変化していきます。日が短くなって気持ちも沈みがちですが、そんな季節は明るいものや暖かさが恋しくなります。日が暮れて真っ暗な帰り道、ようやくたどり着いた部屋が明るく暖かな場所であれば、それは毛布に包まれるのと同じように、幸福感で満たされます。寒さのうちに触れる温もりは、なぜこんなにも幸せを感じさせてくれるのでしょうか。

近年、サードプレイスという言葉を知りました。それは、自宅や職場、学校とは離れた心地の良い第3の居場所と言われ、8つの条件があるとされています。詳しくは述べられませんが、明るい場所であること、誰もが受け入れられる場所であることなど、それは暖かで穏やか、まるで毛布に包まれるようなものと言えるでしょう。園芸療法はグループで行うことが多いのですが、誰かにとってサードプレイスとなり得るような場であるよう意識しています。そこに来ると、痛みや辛さ、生きにくさから少しでも離れ、その人らしく過ごせるような場所、そのような場を作りたいと日々取り組んでいます。

専門家が教える
健康
レシピ
第4回

カリウムがむくみに効く! むくみ解消献立

鶏のからあげピーナッツ絡め



作り方

- 1 鶏肉は食べやすい大きさに切り、しょうが・酒に約20分浸ける。
- 2 ピーナッツをビニール袋に入れ、麺棒で粗めに砕く。
- 3 ビニール袋に鶏肉と片栗粉を入れ、袋の上を閉じて振り、片栗粉をつける。
- 4 180℃の油で約5分揚げる。
- 5 フライパンにたれの材料をすべて入れて火にかけて、泡がぶくぶくしてきたら弱火にし、揚げた鶏肉とピーナッツを入れて絡める。

材料(一人前)

- 鶏もも肉(皮なし) … 150g
- ピーナッツ … 15g
- 片栗粉 … 適量
- おろししょうが … 10g
- 酒 … 小さじ2
- 油 … 適量
- 醤油・みりん … 各小さじ2
- 酢・砂糖 … 各小さじ2
- お好みの野菜 … 100gほど
- レタス、パプリカ、玉葱など

エネルギー	483KCal
たんぱく質	40.3g
脂質	20.6g
塩分	1.3g
カリウム	401mg

わたしが作りました!

ピーナッツには塩分を体の外に出してくれるカリウムが豊富に含まれており、アルギニンの血行改善と合わさって、むくみを解消する効果も期待できます。ご飯や野菜が進むレシピです!

栄養科 管理栄養士 井川愛理



脳血管障害の治療は時間との闘い、「おかしいな?」と思ったらすぐ病院へ!

北斗病院 副院長
脳血管内治療センター センター長

西尾 明正

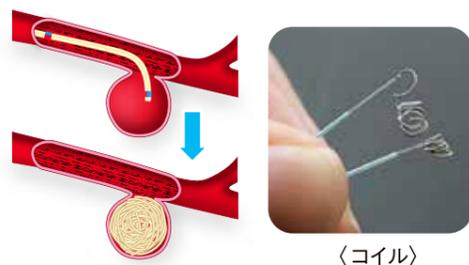
大阪市立大学卒。大阪市立大学医学部
准教授「脳神経外科学」を経て、平成23
年7月に北斗病院勤務(副院長兼脳血管
内治療センターセンター長)。日本脳神経
外科学会指導医・専門医、日本脳神経血
管内治療学会指導医・専門医。日本脳卒
中学会専門医



—脳血管内治療センターでは、どのような治療をしているのですか?

脳の血管障害には、「脳梗塞」「脳出血」「クモ膜下出血」があり、これらを総称して「脳卒中」といいます。北斗病院には脳卒中センターがありますが、脳血管内治療センターでは、脳卒中治療の中でも頭を切る(開頭)ことなく、カテーテルを使って血管内から治療することが可能な疾患を対象としています。その対象疾患はさまざまですが、大別すると病変部を閉塞して出血を予防する手術(脳動脈瘤など)と、狭くなった血管を拡張して血流を改善させる手術(脳梗塞など)があります。

北斗病院で1番多い治療は、脳動脈瘤に対するコイル塞栓術です。動脈瘤が破裂しないように、この中にコイルを詰めていく治療です。2番目に多いのが、大きな血管に血栓(血の固まり)が詰まった脳梗塞の治療です。それ以外には、高度狭窄になっている頸動脈を押し広げる治療や、脳腫瘍を開頭手術で摘出する前に、できるだけ手術時の出血量を抑えるための腫瘍血管塞栓術などがあります。また、実施件数はそれほど多くありませんが、脳動静脈奇形や硬膜動静脈奇形などの治療もしています。



(コイル)

—患者さんにとって脳血管内治療は、外科手術と比べてどのようなメリットがありますか?

一般的な開頭術による外科手術に比べて体への負担が極端に少ないことが挙げられます。傷はカテーテル等を挿入する針孔だけです。また、対象疾患にもよりますが、局所麻酔でも可能であり、全身麻酔をすると危険な高齢者や、心臓や肺の悪い人などには非常に有用な方法です。そのため総じて入院期間が短くなることなどの利点があります。

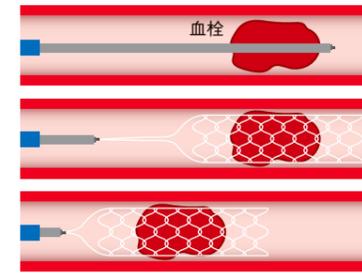
とはいえ外科的手術のほうが利点の多い場合もあり、脳血管内治療単独か外科的手術と併用するかは、脳神経外科、脳卒中センター、頭頸部腫瘍センター、脊椎脊髄センターと連携して、患者さんの状態を十分検討して治療を選択しています。

—脳梗塞は、突然起きる怖い病気です。具体的にどういった治療をするのですか?

脳梗塞は脳の血管に血栓が詰まることで発症します。脳血管障害の治療は時間との闘いです。細い血管に詰まった場合は内科的治療が中心になりますが、太い血管ほど開通しにくく詰まると重症になり、患者さんの体に重大な影響をもたらします。命にかかわったり、寝たきりになったりするリスクが高いため、緊急治療で早期に血栓を取り除き、血流を再開させる必要があります。

方法として、詰まった血栓を溶かす「t-PA」の静注療法と、機械的に血栓を取り除く治療があります。現在は主にカテーテルを使って詰まった血栓を吸い取る「ペナ

ンブラ」と2014年に登場した「ステントレトリバー」という新たな血栓回収機器を駆使して、再開通率が向上してきています。患者さんは一人ひとり病状が違いますので、状態を見極めながら適切に方法を選択しています。



〈血栓除去のイメージ図〉
血栓にカテーテルを進めた後、ステントを広げ血栓を絡めとります

—耳鼻科の医師と連携したがんの化学療法も実施しているそうですね。

喉頭がんや咽頭がんなど耳鼻科の医師と連携して、局所化学療法の動注(カテーテルを使って動脈から直接薬剤を投与する)治療を実施しています。それぞれの得意な治療手段を発揮して、患者さんに貢献できればと思っています。耳鼻科の医師の話だと、道内で実施しているのは当院含めて3箇所、手術によっては放射線科などカテーテル挿入の技術が高い医師が実施しているところもあるそうです。

—私たちが日頃から注意しておくことはありますか?

脳の検査(脳ドック)を受診するというのもありますが、これは保険適用ではないので、受診には自費の負担を強いることになってしまいます。その前にまずは一次予防として、一般健康診断で糖尿病やコレステロール、血圧などはチェックしてほしいです。ある程度

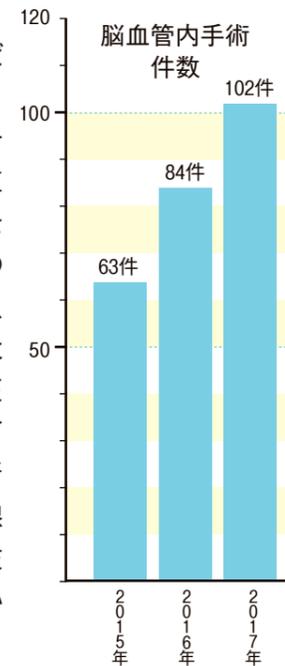
の年齢になったら面倒がらずに、定期的な健診は必ず受けましょう。

そして、脳血管障害は発症から1時間でも2時間でも、治療開始が早ければ早いほど、治療効果が得られます。以前、搬送時間40分かかる地域から、発症45分で病院に到着した方がいました。ということは、5分以内に救急要請したことになります。完全に片麻痺になり意識のない状態で搬送された患者さんは、早期に血栓回収した結果、元通りにしゃべることができるようになりました。他にも、動かなかった手足が動くようになって、1週間で家に帰れた方もいます。残念ながら全ての方がこのような結果になるとは限りません。しかし、救急搬送など地域の医療機関とも密な連携体制ができてきていますので、自分が「ちょっと調子が悪いな」「脳卒中かな?」と思ったらすぐ119番に電話したり病院に行ったり、一晩寝て様子を見ないで病院をすぐに受診してほしいと思います。

—最後に、先生が目指している脳血管内治療の今後の展望を教えてください

北斗病院は2011年7月に道東初の脳血管内治療センターを開設しました。以来、さまざまな治療方法も登場し、脳血管内治療への期待はさらに高まっています。これからもさらに発展していくと思いますが、関東や関西と比較すると北海道での脳血管内治療はまだあまり普及していません。

「十勝の脳血管障害をなんとか救いたい」「道東での脳血管内治療を普及させ、地域住民が受けられる医療の向上に貢献したい」というセンター設立の理念に共感し、私は関西の病院から赴任してきました。病院の代表選手として、地域の医療機関の医師と可能な限り情報交換し、管内19箇所の救急隊訪問や市民講座など、発症から治療開始までの時間短縮に理解を深めてもらうために年20回以上講演をしています。こういった活動をグループ全体で支えてくれています。若い医師にも脳血管内治療について学び、積極的に治療に関わってもらえるよう教育指導の場を作りながら、私自身も今後もさらなる研鑽を積んでいきたいと考えています。



札幌で経頭蓋集束超音波治療(FUS)に関する 市民公開講座「高い関心集める」

北斗病院 副院長 脳神経内科部長 金藤 公人

さる9月29日札幌駅前アステイ45にて第66回北斗最新医療セミナー「ふるえやパーキンソン病に対する超音波による切らない手術」が開催され、患者さんや家族、医療関係者を含め134名が熱心に聴講された。

前回、2016年12月同会場でFUS治療について第1回講演会を開催したが、交通機関もストップする荒天の中、多くの来場者があった。今回は主にふるえを主題としたが、今回はパーキンソン病に焦点を当てた。

FUSはMRIで精密に位置決めをした上で、頭蓋骨を開けることなく、超音波を虫眼鏡の要領で集めて内部に照射し、脳の一部を熱凝固する。全身麻酔不要の非侵襲的(痛くない、切らずにできる)で画期的な治療でエジソン賞を受賞するなど注目度も高い。

まず、井出院長の開会挨拶の後、パーキンソン病の患者さんを数多く診察されている医療法人北祐会札幌パーキンソンMS神経内科クリニック院長の廣谷真先生より「パーキンソン

病とうまく付き合うための秘訣」と題し、病気の詳細や治療、そして日常生活で気を付けないといけないポイントをわかりやすく、丁寧にご教示いただいた。

同クリニックは札幌駅前のビル内のアクセスしやすい場所であり、専任のセラピストも多く在籍し、パーキンソン病など神経難病の方の外来リハビリも積極的にを行い、患者さん同士の交流も図れるよう院内カフェを開催するなどされており、その取り組みは大いに参考になった。

2題目として当院の脳神経外科 天白晶医師が「両側本態性振戦に対する、MRgFUSとDBSの併用療法の試み」と題し、重篤な両側のふるえをFUSと従来からある深部脳刺激(DBS)の組み合わせで治療した例を紹介。劇的に両側の振

戦が消失した患者さんの動画には感嘆の声が洩れていた。現時点で、本態性振戦に対するFUS治療は片側のみであるが、今後は両側可能となるかもしれない。また、現在自由診療(自費診療)でのみ施行可能だが、今後は保険収載される可能性が期待され、「ふるえ」で悩む患者さんへの朗報となるだろう。

最後に、私、金藤が「超音波による画期的新治療」パーキンソン病への応用」と題して、前回の講演会時には、おまかな紹介に終わったパーキンソン病へのFUS治療の適応や実績について説明した。パーキンソン病は、高齢化にも伴って10万人に150人程度の患者さんがいる現代の克服すべき神経難病の一つで、薬物治療が奏功している間は良いが、そのうち薬の効きが悪くなったり、短くなったりする弊害や、逆に効き方が強く出て、体がぐねぐね勝手に動いてしまうジスキネジアなどの運動合併症で悩まされる患者さんも少なくない。

こうした薬物治療が難しく、ジスキネジアで困っているパーキンソン患者さんを対象とした

睡眠時無呼吸症候群の検査と治療

北斗病院 副院長 耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長 坂東 伸幸

FUS治療の臨床試験は当院が日本で初めて開始し、これまで5例の患者さんに施行した。頭蓋骨の超音波の通りやすさや元の病状などにより、効果に差はあり、よく効く条件を今後も模索していく必要があるが、概して有効で安全な手法と考えられる。

前回の講演会を聴講して臨床試験に参加した札幌在住の40歳代の患者さんを今回動画で紹介したが、この方のように劇的に症状が改善する人もおり、FUSがより多くの患者さんに寄与できるように、今後も取り組んでいきたい。

なお、臨床試験は継続中で、細かい基準があり、誰もが参加可能ではないので、まずは主治医とよく相談され、適応しそうな紹介状を記載して頂き、当院(☎0155・48・8000)担当CRC・森まで連絡を。

「睡眠時無呼吸症候群とは何ですか？」

寝ている間に一定の時間、回数を超えて息が止まっている場合、睡眠時無呼吸症候群と診断されます。寝ているとき息が止まってしまうと酸素欠乏の状態になってしまいます。苦しくなると血圧が上がります。心筋梗塞や脳梗塞のリスクが高まります。また、夜間、十分な深い睡眠がとれないため、日中、急に眠くなってしまうこともあります。車の運転中であれば、大変です。交通事故を起こしてしまうかもしれません。頭痛、いらから集中力が低下し、仕事でミスをしてしまうこともあります。

「どうして睡眠時無呼吸症候群になるのですか？」

肥満の方に多いのですが、首回りやあご、舌の付け根に脂肪

が付いて、のどが狭くなることの原因となります。扁桃腺が大きい、また、鼻炎や副鼻腔炎(蓄膿症)で鼻がつまっていることも原因になります。寝る前の飲酒、タバコものを腫れさせて無呼吸を悪化させます。加齢により、のどの筋肉が弱まり、寝ているときに舌の付け根が落ち込んでしまうこともあります。

「検査はどこで受けられますか？」

①前述のような症状があり、調べて見たい方↓北斗クリニック耳鼻咽喉科を受診して鼻やのどを見てもらい、詳しい検査を予約することになります。

②気になる症状はないけど調べてみたい方↓当院検診センター(☎47・777)に電話して睡眠時無呼吸検査を申し込むと器械が家に送られてきます。結果によって受診が勧められます。

※自宅で器械を装着しておこなう簡易検査(アプノモニター)という検査、他1泊2日で北斗病院に入院し、器械を付けて睡眠の状態を詳しく調べる精密検査(PSG検査)があります。

「治療法はどうなりますか？」

それぞれの検査結果により、治療法があります。最近太ってきた方は食事をつけて、運動をして体重を減らしましょう。鼻炎や副鼻腔炎など鼻がつまる場合には内服薬や点鼻薬、手術することもあります。扁桃腺が大きい場合は扁桃腺を取り去る手術があります。

検査結果で重症と判定された場合、CPAPという器械を装着して寝ると無呼吸が非常に良くなります。少し慣れが必要ですが、そのうちぐっすり寝れるようになります。病院から貸し出す形となり、月に1度北斗クリニックに通ってレンタル料を支払って頂きます。転居や色々な事情により、ほかの病院で継続できない場合、北斗クリニックに通院して継続することもできます。





北斗の検診

 <p>がんドック 考えて欲しい「がん」のこと。 がんは身近な病気です</p>	 <p>心臓ドック 心筋梗塞や狭心症などの 心疾患の早期発見</p>	 <p>脳ドック 早期に、的確に。発症前に 対応策を取る事が重要です。</p>	 <p>人間ドック 消化器系を徹底検査 消化器官の状態を知りましょう</p>	 <p>PET 乳がんドック 痛みの少ない 乳がん検査をご存知ですか？</p>	 <p>乳がん検診 まだまだ、他人事だって 思っていますか？</p>
---	--	---	--	---	--

アートギャラリー出展作品募集中



当院内にあるアートギャラリーにて地域の皆さまの作品を展示しています。絵画や写真、陶芸、手芸品など素敵な作品を出展してみませんか？



北斗病院 地域交流委員会
アートギャラリー係
時間：月曜～金曜 9時～17時

講演会承ります。

北斗病院の職員が出張講演いたします。

医師や看護師、ソーシャルワーカーなどの人材から多種多様なお話を聞く機会を企画してみませんか？
講演会を依頼されたい方はお気軽にお問い合わせください。



すべてのお問い合わせ ☎0155-48-8000〈北斗コールセンター〉



- 関連施設
- | | | | |
|--------------------------|-------|------------------------|---------------|
| 北斗病院 | （帯広市） | ほくと自立支援ホーム/あおぞらクリニック | （帯広市） |
| 北斗クリニック | （帯広市） | 上士幌クリニック/介護老人保健施設かみしほろ | （上士幌町） |
| 十勝リハビリテーションセンター | （帯広市） | 新得クリニック | （新得町） |
| サービス付き高齢者向け住宅「あやとり」 | （帯広市） | 熊谷総合病院 | （埼玉県熊谷市） |
| 十勝自立支援センター介護老人保健施設「かけはし」 | （帯広市） | HOKUTO画像診断センター | （ロシア・ウラジオストク） |
| | | HOKUTOリハビリテーションセンター | （ロシア・ウラジオストク） |